



## **BLANCCO SPARC EDITION**

バージョン 1.0 ユーザ マニュアル

2009/06/01

# 目次

はじめに .....	4
最小システム要件 .....	4
ソフトウェアの開始 .....	5
PuTTY 設定 .....	6
端末設定 .....	6
PuTTY を使用したレポートの保存 .....	7
<b>Blancco クライアントへの簡単な導入 .....</b>	<b>8</b>
ファンクション キー .....	9
[F3] 消去方法（上書き）の選択 .....	9
[F4] HexViewer .....	9
[F5] レポート .....	9
消去後に生成されるレポート .....	10
<b>Blancco データ消去クライアントのセキュリティ機能 .....</b>	<b>11</b>
ハード ディスクの検知 .....	11
不良セクタの処理 .....	11
ATA インタフェースにおけるリマップセクタの情報破損 .....	12
SCSI インタフェースにおけるリマップセクタの情報破損 .....	12
ホスト保護領域 (HPA) .....	13
装置構成オーバーレイ (DCO) の取り扱い .....	13
<b>オプション機能 .....</b>	<b>15</b>
消去レポートのカスタマイズ .....	15
<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>16</b>
*.iso イメージの焼き付け/CD イメージの作成 .....	16
トラブルシューティング用デバッグ ユーティリティ .....	16
ハードウェア クロックの不具合 .....	17
[Erase failed due to the verification] ポップアップ .....	17
<b>使用許諾契約 .....</b>	<b>18</b>

## 用語集

用語	説明
ATA	アドバンスド テクノロジー アタッチメント (Advanced Technology Attachment) の略。ディスク ドライブの実装規格で、ディスク ドライブ自体のコントローラーを統合します。
DCO	装置構成オーバレイ (DCO)。これにより、システム ベンダーはサイズが異なる HDD を複数の製造元から購入しても、すべての HDD が同じセクタ数となるよう構成することができます。例えば、DCO を使用して 80 GB の HDD を 60 GB の HDD として OS に認識させるなど。
ファイバー チャンネル	コンピュータのコンソーシアムおよび大容量記憶装置メーカー各社によって開発されたシリアル データ 転送アーキテクチャー。現在は ANSI によって標準化されています。ファイバー チャンネル アービトレイテッド ループ (FC-AL) は最もよく知られた標準的なファイバー チャンネルです。
HDD (ハード ディスク ドライブ)	磁性体が塗布された、高速回転するプラッター上にデジタル エンコードされたデータを記録するコンピュータ装置。
Hexviewer	Hexviewer (すなわちバイナリ ファイル エディターもしくはバイト エディター) とは バイナリ (通常は平文でないテキスト) のコンピュータ ファイルを操作するためのコンピュータ プログラムの一種 Blanco はこれを使用してディスク内容全体を参照します。
HPA	ホスト保護領域 (HPA) とは、ハード ディスク ドライブ (HDD) 上の保護領域。ユーザーや OS が簡単に修正、変更、アクセスできないような方法で情報を記録するよう設計されています。
リマップ	リマップセクタの数。ハード ドライブは読み込み/書き出しチェックでエラーを検出すると、そのセクタを "リマップセクタ" としてマーキングし、データを特別な保護領域 (予備領域) に転送します。
SATA	SATA とは、物理記憶装置インターフェースであるパラレル ATA の改良版。SATA はシリアル接続であり、最低 4 つのワイヤーからなる単一のケーブルでデバイス間をポイントツーポイント接続します。
SCSI	小型計算機システム インタフェース (Small Computer System Interface) の略。周辺装置をコンピュータに接続する際の標準的なパラレル インタフェースで、Apple Macintosh コンピュータや PC、そして多くの UNIX システムで使用されています。

# はじめに

弊社のデータ消去製品をご購入いただきありがとうございます。

**重要:** プログラムをご使用になる前に次の説明をよくお読みください。

Blancco クライアント ソフトウェアをご使用になる前に、必要なすべてのファイル、フォルダー、ソフトウェア アプリケーション、およびその他の情報を元のハード ドライブ以外の適切な媒体装置に必ずバックアップしてください。本プログラムを用いてハード ディスクから消去されたデータは、既存のいかなる方法でも回復できません。Blancco ソフトウェアの起動時、装置構成オーバーレイ (DCO) 設定およびホスト保護領域 (HPA) は、デフォルト設定にリセットされることにご注意ください。

データを消去した後、そのコンピュータを使用する際は、オペレーティング システムをインストールする必要があります。

ハード ディスク上の情報を消去すべきかどうか不明な場合、社内のコンピュータを管理するシステム オペレーター、情報管理部門等にご確認ください。確実に不要なデータであることが確認できない場合、データを消去しないでください。

## 最小システム要件

ソフトウェアの使用を開始する前に、コンピュータが以下のシステム要件を満たしていることを確認してください。

1. OpenSolaris をサポート
2. ハード ディスク ドライブ
3. 160 MB 以上の RAM メモリ
4. ディスプレイ、モニターまたはシリアル コンソールのいずれかを装備
5. CD ドライブを搭載
6. [Optional] 消去レポートを保存するための USB ポート

## ソフトウェアの開始

1. SPARC システムが CD または DVD ドライブを搭載していることを確認します。
2. シリアル コンソールを介して消去を行う場合、Xterm と互換性のあるターミナル (PuTTY など) を使用することを強く推奨します。
3. Blanco SPARC ディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
4. オープン ブート PROM (OBP) で 'boot cdrom' と入力します。OBP にアクセスするには SPARC キーボードで Stop キーを押しながら A キーを押します。PuTTY を使用している場合、Ctrl キーを押しながら Pause キーを押します。
5. ソフトウェアは自動でターミナルの検索を行います。あるいは、Shift キーを押しながら T キーを押してターミナル設定メニューを開き、使用しているターミナルを入力することもできます。キーボードおよびモニターを介してソフトウェアを操作している場合、ターミナルを 'sun' に設定する必要があります。ユーザー インタフェースが正しく動作しない場合、ターミナル設定が使用しているターミナルと一致していないことが考えられます。ターミナルが正常に自動検知されない場合、F1 キーを押してデバッグ レポートを保存し、そのレポートを 販売元 に送信してください。
6. ターミナル設定は正しいが、ソフトウェアが矢印キーとファンクション キーを ESC キーとして認識してしまう場合、Shift キーを押しながら S キーを押して、2 つの入力モード間を切り換えることができます。
7. 指示に従ってデータの消去を開始します。
8. シリアル コンソールを切断する必要がある場合、再接続後に Shift キーを押しながら R キーを押すことで画面をリフレッシュできます。
9. レポートを保存する方法は 3 つあります。
  - a. 取り外し可能な媒体に保存。SPARC システムに取り付けた USB フラッシュ ドライブにレポートを保存するにはこのオプションを使用します。新しく取り付けられた USB デバイスはハード ドライブ選択画面にのみ登録されることに注意してください。
  - b. 表示ディスプレイ。SPARC システムに取り付けた USB ドライブにレポートを保存できない場合、または PuTTY のリモート プリント機能を使用できない場合、このオプションを使用します。この方法は、xml データをターミナルに表示します。その後、レポートをファイルにコピー ペーストできます。
  - c. ターミナルを通してリモート プリント。PuTTY があり、Generic のテキスト専用プリンターをインストールしている場合、このオプションを使用します。詳細については、「PuTTY を使用したレポートの保存」の章を参照してください。

**注意:** サーバー環境で消去を行う場合、本マニュアルの「SCSI インタフェースにおけるリマップ/リマップセクタの情報破損」の章をお読みになることを推奨します。

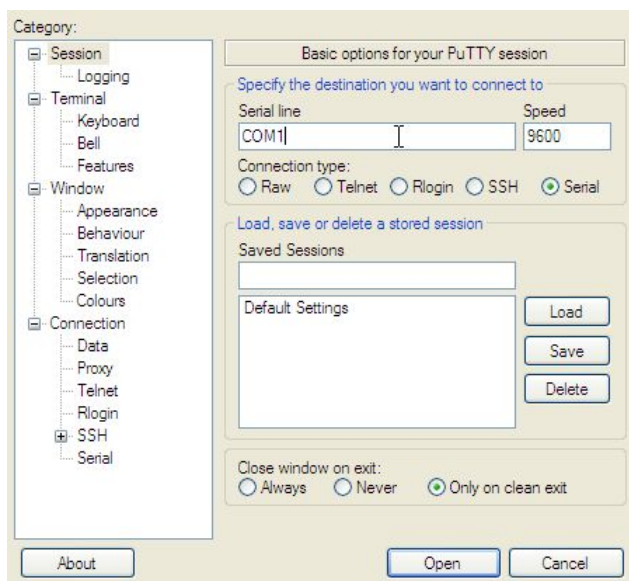
## PuTTY 設定

PuTTY はオープン ソースの xterm 端末エミュレーターで、リモート制御印刷を可能にします。マルチプラットフォーム プログラムで、Windows および Linux の両方で動作します。PuTTY は次のリンク先から取得できます。

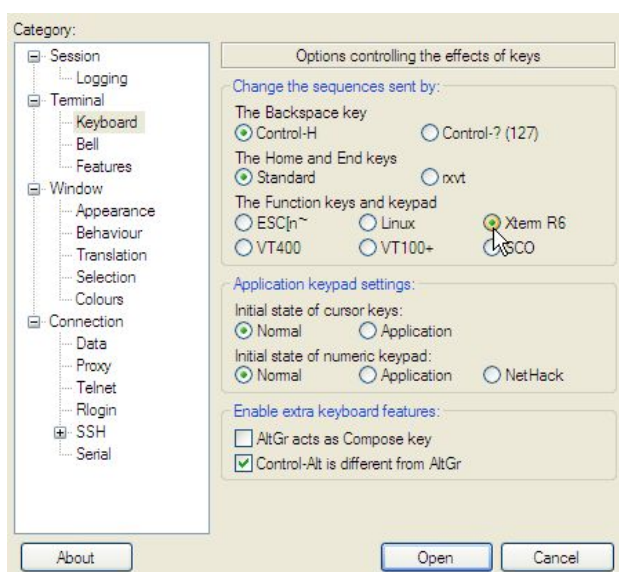
<http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/download.html>

### 端末設定

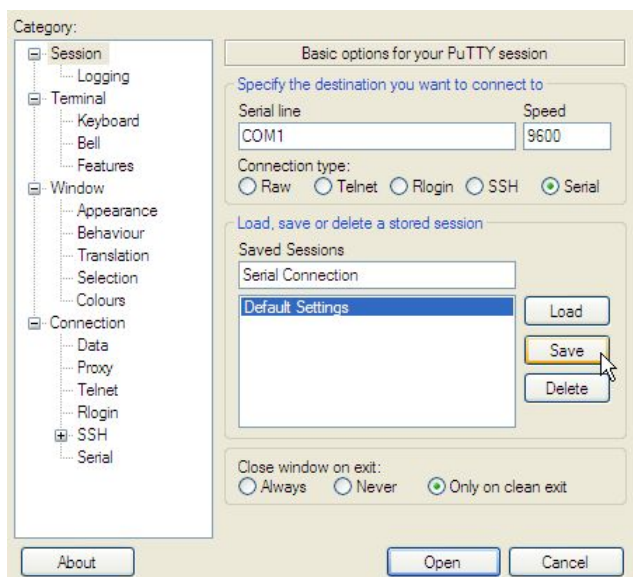
1. システムにシリアル接続する場合、[Connection type:] [Serial] を選択し、使用しているシリアルポート名を [Serial line] フィールドに入力します。



2. [Terminal] カテゴリから [Keyboard] を選択します。[The Backspace key] で [Control-H] を選択し、[The Function keys and keypad] で [Xterm R6] を選択します。



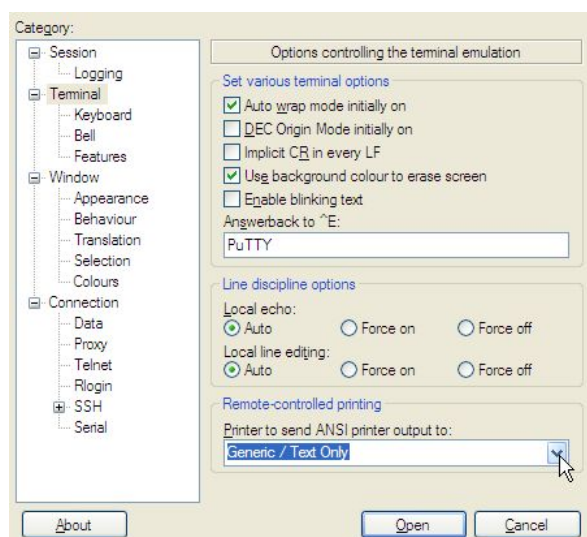
3. すべての設定は [Session] カテゴリで保存できます。セッションに付ける名前を [Saved Sessions] フィールドに入力し、[Save] を押します。



### PuTTY を使用したレポートの保存

次の手順で、PuTTY を実行しているシステムヘレポートを保存します。

1. Generic のテキスト専用プリンターをインストールします。  
<http://support.microsoft.com/kb/308579#4> で Windows の説明を参照できます。
2. [Terminal] カテゴリの [Remote-controlled printing] から [Generic / Text Only] を選択します。



3. 必要に応じてセッション設定を保存します。

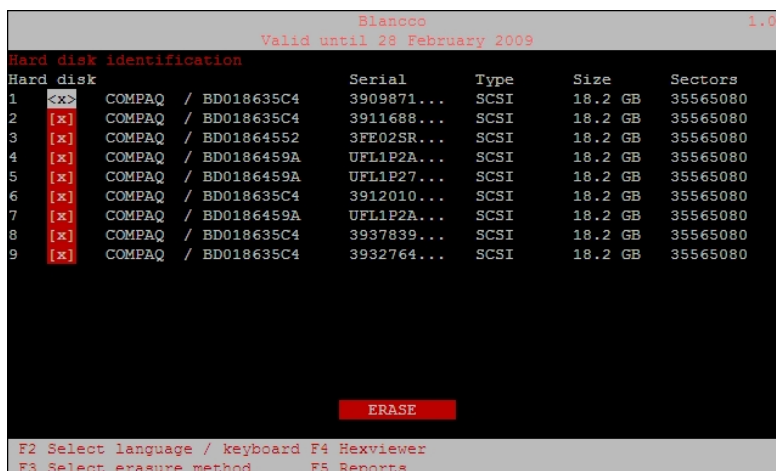
# BLANCCO クライアントへの簡単な導入

## ステップ 1 / 3 – ハード ディスク ドライブの確認

コンピュータ内で検知されたハード ドライブが表示されます。ハード ドライブが正しく認識されていることを確認してください。

マウスで [erase] が選択されるまでタブ キーを押して、[enter] を押し、消去を開始します。消去を開始する前に確認が求められます。

**注意:** デフォルトでは、すべてのハード ドライブが消去対象に選択されます。



## ファンクション キー

[F3] 消去方法を選択（上書き基準を選択、または独自の上書き基準を作成します）

[F4] Hexviewer（ハード ドライブを目視検査するための組み込みセクタ ビューアーです）

[F5] レポート（消去レポートの内容を確認し、必要に応じて保存または修正します）

## ステップ 2 / 3

データ消去処理が表示されます。消去をキャンセルするには ESC キーを押します。上書き処理が完了する前にキャンセルした場合は、すべてのデータが上書きされたことは保証されません。その場合、レポートには消去が完了しなかった履歴が記載されます。

## ステップ 3 / 3

データ消去レポートが表示されます。画面下に [save] および [quit] ボタンが表示されます。[save] をクリックした後、レポートの保存先のデバイス（フロッピー ディスクまたは USB ポート）の選択が求められます。[quit] を押した場合、終了するかどうか確認が求められます。レポートの保存後、または [[はい] を押して確認後、“Please shutdown the computer” という画面が表示されます。**オリジナルの消去レポートは保管しておいてください。このレポートは選択した方法に基づき消去が実行されたことを証明する文書となります。**

## ファンクション キー

### [F3] 消去方法(上書き)の選択

ファンクション キー F3 で上書き方法の変更や編集ができます。上書きはバイト パターンで処理されます。データは上書きの標準規格やユーザーが選択したパターンが定義する方法で、1 および 0 を使ってバイナリ レベルで上書きされます。ユーザーは上書きの回数を選択でき、各回に対してパターンも選択できます。パターンは承認された標準規格でそのまま作成することも、また、ユーザーが独自にパターンを作成することもできます。

バージョン 1.0 で利用可能な消去の標準規格	上書き回数
英国政府準拠方式 Infosec No.5 (Baseline Standard)	1
英国政府準拠方式 Infosec No.5 (Enhanced Standard)	3
ピーター・グートマン推奨方式	35
米国国防総省準拠方式、サニタイズ (DOD 5220.22-M)	3
ブルース・シュナイアー推奨方式	7
米国海軍準拠方式 (NAVSO P-5239-26 ・ RLL)	3
米国家コンピュータ セキュリティ センター準拠方式 (NCSC-TG-025)	4
米国家コンピュータ セキュリティ センター準拠方式 (NCSC-TG-025)	4
米国陸軍準拠方式 (AR380-19)	3
ドイツ BSI/VSITR 方式	7
OPNAVINST 5239.1A	3
NSA 130-1	3
DoD 5220.22-M ECE	7
RSD (リマップ セクタ消去)	1

### 消去パターンの編集

基準リストから [custom] を選択します。上書き回数を入力し、[define] を押します。これで各上書き方法を修正できるようになります。ランダムまたはマスクのいずれかを選択できます。ランダムは 1 または 0 の バイナリがランダムに選択され、マスクは 16 進数形式で表示されるバイナリ パターンを選択できます。

例 (3 回の上書き):

形式	マスク (1 回目)	マスク (2 回目)	マスク (3 回目)
16 進数	0x55	0xaa	0x00
2 進数	01010101	10101010	00000000

### [F4] HexViewer

ファンクション キー F4 で HexViewer を表示します。これはハード ドライブ上の各セクタ内容を確認するためのツールです。ドロップダウン メニューからハード ドライブを選択後、“先頭”、“前”、“次”、“最後尾”、さらにハード ドライブ上の指定したセクタに移動できます。

### [F5] レポート

“F5 Reports” ページを開くと、消去を実行する前に消去レポートがプレビュー表示され、次のことができます。

- 未検出フィールドを記入。
- F10 保存 => レポートをフロッピー ディスクまたは USB ドライブに保存できます。
- F12 キャンセル => 画面を閉じることができます。

## 消去後に生成されるレポート

Blanco のデータ消去製品では 3 つの異なる形式でレポートを生成します。HTML 形式はブラウザで参照できます。all.xml 形式は外部データベース システムへのデータ インポートを簡単に行うために提供されるものです。このファイルは消去ソフトウェアが生成するすべてのレポートを保持します。フォルダーには、レポートごとに xml、xsl、および css 情報が含まれます。xml の情報にはハードウェア情報そのものが含まれますが、xsl および css ファイルは単にレポートのスタイルと構造を定義するためのものです。

**注意:** all.xml ファイルは単一のファイルとして管理コンソールに簡単にアップロードできます。

# BLANCCO データ消去クライアントのセキュリティ機能

## ハード ディスクの検知

ハード ディスクなどの磁気性記憶媒体で、媒体に情報を記憶する際、物理アドレス指定を使用します。物理アドレス指定では、ハード ディスクを細かく分割し、それを所定のパラメーターに基づき指定します。磁気媒体では、セクタ、シリンダー、およびヘッドが物理パラメーターとなります。コンピュータの使用時、オペレーティング システムがこれらのパラメーターに基づいてハード ディスク上の情報を検索します。また、パラメーターによって、ハード ディスクのサイズおよび記憶場所が規定されます。データ消去ソフトウェアの機能として、このハードウェア レベルのパラメーターを確実に安全に検知できることは不可欠です。ハード ディスク情報を変更する技術を使用する場合も、データ消去ソフトウェアには、ハード ディスクのサイズを正しく検知する能力が求められます。ハード ディスクを正確に検知できないと、ハード ディスクを完全に消去できない恐れがあります。

Blancco のデータ消去ツールはすべてハードウェア レベルでのハード ディスク検知を採用しており、正確なハード ディスクのサイズを検知できます。その結果、未処理の領域を残すことなく、ハード ディスク全体を上書き処理することができます。

## 不良セクタの処理

構成が正常に行われていなかったり、誤っていたり、破損していると、重大なデータ セキュリティ リスクの原因となる可能性があります。この他にも、安全なデータ消去処理を確実に実行するにあたって、対処すべき点があります。ハード ディスクには読み込み、書き込みのいずれのコマンドでもアクセスできない、使用不可能となった破損領域が含まれることがあります。データ消去の用語でこういった領域は物理的的不良セクタと呼ばれ、データ消去ツールはこれを検知し、明確にレポートできることが求められます。

Blancco データ消去クライアントはデータ消去処理を追跡し、何らかのハード ディスク エラーによりデータ消去（上書き）が遂行できない場合、そのことを通知します。例えば、ハード ディスク上で不良セクタが検知された場合、その破損領域に 1 つのデータ ブロックの書き込みを試みます。そこで“反応がない”と、さらに小さいブロック（元のブロック サイズの半分）の書き込みを破損領域に行うことで、できるだけ多くのデータを上書きします。ハード ドライブに書き込める最小のブロックまで同じ手続きを繰り返し、繰り返すことができなくなった時点で、そのセクタは物理的的不良セクタとしてマーキングされます。この手続きでは、不良セクタも含めて非常に正確に消去できるため、消去可能な領域はすべて消去され、本当に不良なセクタや領域のみがレポートされます。不良セクタは画面に表示されるほか、各消去処理後に生成される消去証明でもレポートされます。

どのような場合でも、消去の状況がユーザーに通知され、常に正しく状況を把握できます。

## ATA インタフェースにおけるリマップセクタの情報破損

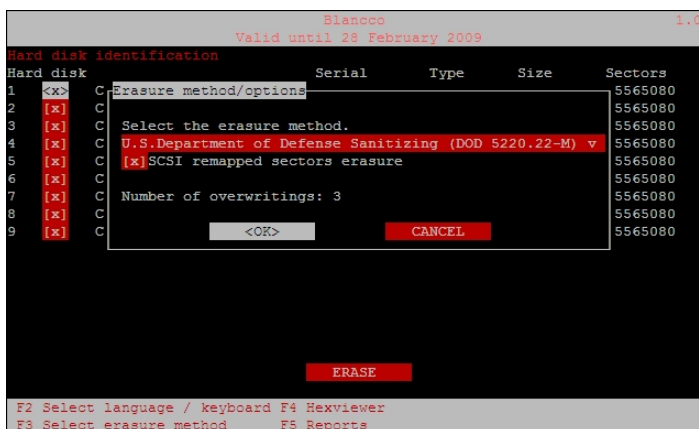
最近のハード ドライブは、自己テスト、自己リカバリ、および自己状態の追跡機能を豊富に備えています。その 1 つがセクタのリマップ機能です。これにより、ハード ドライブは今後アクセスできなくなる、またはすでにアクセスできないセクタを検知し、隠せるようになります。ハード ドライブは、まさにこのために、いわゆる予備領域を備えています。不良セクタが検知されると、ハード ドライブ コントローラーはそのセクタのアドレスを予備領域内の新しいセクタに割り当てます。したがって、アドレスは同じままで、セクタが変更されます。リマップ セクタにはユーザーのデータが存在する可能性があります。リマップ セクタには、ディスクの完全消去時に合わせて消去されるべきユーザーのデータが存在する可能性があります。

Blancco クライアントでは、リマップ セクタも消去でき、データ回復は不可能となります。ハード ドライブがリマップ セクタの消去をサポートしている場合、Blancco クライアントは検知したリマップ セクタをユーザーに通知し、ユーザーはそれらのセクタを消去するかどうかを選択することができます。

## SCSI インタフェースにおけるリマップセクタの情報破損

SCSI リマップ セクタ消去を有効化するには、消去基準を選択して、[SCSI remapped sector erasure] チェックボックスにチェックを入れ、[OK] を押します。SCSI リマップ セクタ消去は、次の消去基準ではデフォルトで有効化されています。

- 米国国防総省準拠方式、サニタイズ (DOD 5220.22-M)
- Blancco リマップ セクタ破棄 (SCSI リマップ セクタ消去を無効化することはできません)



消去処理中にリマップ セクタが検知された場合、プログレス バーに “RSD in progress” という文が表示されます。“Blanco RSD” の消去方法を選択した場合、すべてのハード ディスクでリマップ セクタ破棄が行われることにご注意ください。リマップ セクタの消去処理は、ハード ディスクのサイズやディスクのスピードによっては時間がかかることがあります。

**警告:** リマップ セクタの破棄処理の途中でコンピュータの電源を切ったり、消去をキャンセルしないでください。SCSI ディスクが破損する恐れがあります。

## ホスト保護領域 (HPA)

Blanco ソフトウェアでは、ホスト保護領域を検知し、消去することができます。一般的に、HPA にはオペレーティング システムのリカバリ部分が保存され、注意が必要なデータを含んでいる可能性があります。ホスト保護領域が検知されると、デフォルトで、その領域は消去されます。問題が発生した場合、または HPA 領域を消去するかどうかをユーザーが選択できるようにソフトウェアの設定が変更されている場合にのみ、ポップアップが表示されます。

HPA を削除するにはコンピュータの再起動が必要な場合があります。

## 装置構成オーバーレイ (DCO) の取り扱い

装置構成オーバーレイ (DCO) は、あまり知られていないオプション機能です。ATA-6 の規格として登場したため、機能数は HPA ほど多くありません。DCO を使用することで、ハード ディスクにユーザーやオペレーティング システムがアクセスできない特殊なパーティションを作成できます。データ消去製品が DCO 領域を検知し、さらに網羅して消去する機能を備えていない限り、この特殊なハード ディスクの領域により、消去後も一部のデータがハード ディスク上に残ってしまうリスクが生じます。

Blanco データ消去クライアント製品は DCO 領域を検知し、網羅的に消去することができます。さらに、Blanco ソフトウェアでは、処理内容が画面に表示されるほか、消去証明でもレポートされます。**問題が発生した場合にのみポップアップが表示されます。**

次の表は、指定した DCO の状態ごとに検知されたハード ドライブの動作を記述したものです。右端の列にはハード ドライブの全領域にアクセスするために必要な作業が記述されています。

モード	検知された HDD のサイズ	必要な作業
DCO が無効	40 GBs	作業の必要なし
DCO は有効であるが使用していない	40 GBs	作業の必要なし
DCO は 1 GB 領域に対して有効	39 GB's	DCO を拡張

表: Blanco SPARC Edition 1.0 がサポートする破損、ロック、保護領域

下の表は、Blanco データ消去クライアント ソフトウェアがサポートするロックまたは保護方法をまとめたものです。

HDD インタフェース	ATA	SATA	SCSI	ファイバー チャネル
不良セクタ検知	はい	はい	はい	はい
リマップ セクタ (検知)	はい	はい	はい	はい
リマップ セクタ (消去)	はい	はい	はい	はい
ホスト保護領域 (HPA)	はい	はい	(1) 存在しない	(1) 存在しない
装置構成オーバーレイ (DCO)	(2) はい	(2) はい	(1) 存在しない	(1) 存在しない

- 1) 存在しない: その技術が標準的なハード ディスクで利用できないことを表します。例えば、HPA は SCSI の標準規格でサポートされていません。
- 2) はい: DCO が “フリーズ ロック” モードでないことが前提となります。

# オプション機能

Blanco クライアント製品にはオプション機能が用意されています。これらはデフォルトでは含まれていません。詳細については、販売代理店にお問い合わせください。

## 消去レポートのカスタマイズ

Blanco PC Edition および Server Edition では、消去処理ごとに詳細なレポートを生成します。基本シートには追加情報用のフィールドが用意されており、レポートを保存する前に記入できます。これらのフィールドはレポートの下に用意されており、フィールド名は info1、info2、info3 などに表示されます。消去レポートの任意の位置にフィールドを追加して、ユーザー独自の消去レポートを作成することができます (extra1 = Internal AssetID、extra2 = CustomerID など)。

**注意:** 本機能はオプションです。本機能が必要な場合、販売代理店にお問い合わせください。

# トラブルシューティング

## \*.iso イメージの焼き付け/CD イメージの作成

ファイルを CD-R や CD-RW 上にドラッグ アンド ドロップすることはできません。ISO ファイルはさらに細かいファイルをいくつも含むイメージ ファイルで、CD を焼く際にこれらの細かいファイルを CD に抽出する必要があります。ISO イメージの焼き付け処理を適切に行うと、CD からコンピュータを起動できるようになります。

有償版のチュートリアル	無償版
<a href="#">Nero</a>	<a href="#">BurnCDCC</a>
<a href="#">Roxio</a>	<a href="#">CD Burner XP PRO</a>
<a href="#">MagicISO</a>	<a href="#">ISORecorder</a>
<a href="#">Burn My Files</a>	<a href="#">Final Burner</a>
	<a href="#">Burn (For MAC OSX 10.4 or higher)</a>
	<a href="#">Mac Disk Utility (For MAC OSX )</a>

## トラブルシューティング用デバッグ ユーティリティ

すべての Blancco クライアント ソリューションには、ツールを使用しているユニットのデバッグ情報を収集し、保存する機能が用意されています。サポートへの問い合わせを行う前にデバッグ情報を収集しておく、問題解決のスピードが大幅に向上します。デバッグ情報の収集は次の手順で行います。

### デバッグ情報の収集:

1. USB メモリをデバイスに取り付けます。
2. ソフトウェアを開始します。
3. [Hard Disk Selection] 画面で F5 キーを押して USB メモリにプレレポートを保存します。
4. F1 キーを押します。デバッグ用ポップアップ画面が表示されます。
5. デバッグ レポートを USB メモリに保存します。
6. USB メモリ内のすべてのファイルおよびサブフォルダーを ZIP または RAR パッケージに圧縮し、そのパッケージを [support@blancco.com](mailto:support@blancco.com) に送信します。

## ハードウェア クロックの不具合

ハードウェア クロックに不具合が発生したり、バッテリーが切れることが時々あります。ハードウェア クロックが故障すると、コンピュータの再販価値が低下する恐れがあります。Blancco ソフトウェアは、検知したハードウェア クロックの日付が 2003 年 1 月 1 日以前のものであれば、ハードウェア クロックが故障していると判断して、ユーザーに通知します。ユーザーは消去をキャンセルするか、あるいはハードウェア クロックの不具合を無視して続行することができます。

### [Erasure failed due to the verification] ポップアップ

消去処理後、Blancco クライアントは消去が適切に行われたかどうかを検証します。このメッセージが表示された場合は、消去処理の検証が成功とならず、一部のユーザー データが HDD にまだ残っている可能性があります。

Blancco クライアントは、消去後の HDD からいくつかの場所のデータを読み込んで、消去処理の機能が正常であるかどうか確認します。消去処理で HDD に書き込んだデータと一致しないものがこのデータに含まれた場合、検証は失敗となります。消去処理が失敗する原因には、HDD や IO レベル通信の機械故障などが考えられます。

# 使用許諾契約

Blanco SPARC Edition (以下、本製品)  
バージョン: 1.0  
サードパーティ 使用許諾契約および著作権

Blanco Oy Ltd (以下、Blanco) およびその使用許諾者は、Blanco が提供する本製品および関連文書の全所有権を保持するものとします。本製品および関連文書の使用は製品に対する本使用許諾契約および著作権法によって規制されるものです。

Blanco は本契約によって利用者（以下、利用者）に対して、利用者のコンピュータまたはネットワーク サーバーに、利用者だけが使用する目的で、本製品コピーの 1 部をインストールし使用するための非独占的、制限付きライセンスを付与するものとします。本製品を使用する各コンピュータに対し、正規の本製品コピーの 1 部が Blanco によってライセンス付与されているという条件において、本製品は複数のコンピュータで共有できるものとします。利用者は本製品をいかなる第三者または団体にも販売、賃貸、ライセンス付与、サブライセンス付与、貸与、あるいは譲渡を行うことはできません。利用者は本製品の変更、翻訳、リバース エンジニアリング、逆コンパイル、あるいは逆アセンブルを行うことはできません。利用者はバックアップを目的とする場合にのみ本製品の追加複写を行うことができるものとします。Blanco は予告なしに本マニュアルを改訂できるものとします。

Blanco およびその指定販売店は、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本製品の使用、または使用できないことから生じるあらゆる特別な、間接的、偶発的、懲罰的、懲戒的、派生的損害（あらゆる利益またはデータの損失、事業の中断、およびその他の金銭的損失を含むがこれに限定されない）の責任を負わないものとします。本製品の使用、または使用できないことから生じる Blanco およびその指定販売店の債務総額は、(契約の記述、保証、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理論のあるなしを問わず)、本製品の購入価格を超えないものとします。

本製品および関連文書は“現状有姿”で、いかなる保証もなく提供されます。本製品に発生したいかなる欠陥も、Blanco より無償にて別の本製品コピーを受領することを唯一の救済とします。交換された本製品について、文書の記載に従い実質的に機能することを保証します。保証期間は、元の保証期間の残日数が利用者ソフトウェア納品後 30 日間のいずれか長い方の期間となります。Blanco および/またはその指定販売店は、本契約に明示的に記述されている事項以外について、明示的、黙示的、法定の如何を問わず、一切の保証または条件を定めません。Blanco および/またはその指定販売店は、市販性、特定目的との適合性についての一切の保証を明示的に拒否するものとします。黙示的保証に対する制限を認めない州および地域では、本制限が利用者に適用されないことがあります。本制限付き保証は、製品の故障が事故、誤用、または文書に従わなかったことに起因する場合は無効となります。利用者が本契約に記載された諸条件に従わなかった場合、他の権利を侵害することなく、Blanco は本契約を終了することができます。

Blanco は Blanco Oy Ltd. の登録商標です。その他の Blanco ロゴ、製品名、およびサービス名は Blanco Oy Ltd. の登録商標です。その他の製品名および商標名は各社に帰属します。

Copyright © 2008 Blanco Oy Ltd. All rights reserved. (本製品および文書)

=====  
OpenSolaris

次のリンク先からライセンス コピーを入手できます。

[http://opensolaris.org/os/licensing/opensolaris\\_license/](http://opensolaris.org/os/licensing/opensolaris_license/)

OpenSolaris のインストール CD-ROM は次のようにカスタマイズされています。

- 一部のファイルを削除
- 一部のドライバー パッチを適用
- Blanco SPARC Edition コンポーネントを追加
- Ncurses ライブラリを追加
- インストール スクリプトを修正

=====  
Ncurses 5.6

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下“本ソフトウェア”とします）の複製を取得するすべての者に対し、本契約において、本ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、本ソフトウェアの使用、複写、変更、結合、掲載、頒布、変更したものの頒布、サブライセンス付与、および/またはソフトウェアの複製の販売、および本ソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。

上記の著作権通知および本使用許諾通知を、本ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載するものとします。

本ソフトウェアは“現状有姿”で、明示的、黙示的を問わずいかなる保証もなく提供されます。ここでいう保証とは、市販性、特定目的との適合性、権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されません。上記の著作権保持者は契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、本ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

本通知の記述事項を除き、書面による事前の許可なしに、上記の著作権保持者の名称を宣伝、販売促進に使用すること、または本ソフトウェアで使用またはその他の扱いをすることは禁じられています。

=====

本製品で使用されるサードパーティ製無償配布ソフトウェア、およびそのソースコードのダウンロードリンク先は下記 URL にてアクセスできます。

<http://www.blancco.com/downloads/source/>.

ライセンス事項に関する詳細については、電子メールにて次のアドレスにお問い合わせください。 [general@blancco.com](mailto:general@blancco.com)

=====

詳しくはこちら

WWW.BLANCCO.JP



株式会社 ブランコ・ジャパン  
〒107-0061 東京都 港区 北青山 2-7-11  
青山但馬屋ビル8階

TEL. 03-5772-7491  
FAX. 03-5772-7492  
SALES@BLANCCO.JP  
WWW.BLANCCO.JP